

ロータリーデー活動報告
(兼 ガバナー賞応募)

「ロータリー “音楽の夕べ”」

(姫路中央ロータリークラブ創立 30 周年記念事業)

日時 平成 26 年 11 月 28 日(金)
受付 18 時 00 分 開場 18 時 15 分 開演 18 時 30 分
開場 姫路キャスパホール
主催 姫路中央ロータリークラブ
共催 姫路市児童合唱団
後援 姫路市・姫路市教育委員会・公益財団法人 姫路市文化国際交流財団
入場者 約 300 名
入場料 無料

今回のコンサートは、私たち姫路中央ロータリークラブが、独自の冠名奨学基金によって約 15 年間に亘って留学生を支援してきたなかの一つの成果であります。2014 年 1 月の IM で「留学から未来の夢へ 世界の視点で」をテーマとして掲げ、留学によって得られる成果をどう生かすことができるのかを見つめ直してみようとなりましたが、今回のコンサートもその考えの中にあり、姫路中央ロータリークラブが今後も奨学基金によって留学を支援していく決意を示したものであります。

当日は受付ロビーに「ポリオ撲滅まであと少し」の横断幕を掲げ、またポリオ募金箱を設置し、コンサート内でもロータリーの活動の一環である「エンドポリオ」の動画をスクリーンに流すことにより、広く一般の方々にもロータリーの活動を知って頂けたのではないかと思います。

さらに当日のコンサートの模様は地元のケーブルテレビで、12 月 20 日(土)から 12 月 30 日(火)の間 19:00~20:30 の 1 時間半の番組として放映され、多くの方々に観て頂き好評を得ました。



姫路中央ロータリークラブ会長挨拶



皆さんこんばんは。ようこそロータリーデーへ。
今年度姫路中央ロータリークラブの会長を仰せつかって おりま
す植村です。

私は、普段

「ロータリークラブってどんなところ？」

「何をしているの？」

そんな質問を良く受けます。

それで今日お越しいただきました皆さんに、ロータリークラブを知
って頂きたくて少し説明させて頂きたいと思ひます。

ロータリークラブは世界で始めて出来た奉仕団体で、1905 年アメリ
カのシカゴで異業種の仲間たちが立ち上げました。ロータリークラブ
のこの車輪の謂れは、例会を各メンバーの事業所や自宅で開催した、

つまり輪番で開催したことによるといわれています。

今では 200 以上の国と地域に 33,000 近くのクラブを擁し、120 万人のロータリアンが世界中で活躍しています。日本では 2300 余りのクラブに 9 万人のロータリアンが社会奉仕と国際親善を目的として活動しています。

日本全国は 34 の地区に分けられ、兵庫県はそのうち 2680 地区と呼ばれ 70 余りのクラブが 13 のグループに別れ、協力しあいながら活動しております。姫路中央ロータリークラブは西播第一グループに属していますが、その中には姫路ロータリークラブ、姫路南ロータリークラブ、姫路西ロータリークラブ、姫路東ロータリークラブ、神埼ロータリークラブ、そして私たちの姫路中央ロータリークラブがあります。

ロータリークラブは、「エンドポリオ」(ポリオ撲滅活動)のような医療分野だけでなく、基本的教育と識字率の向上、平和と紛争予防、水と衛生設備、など人類の大きな課題にも取り組み、国際的なネットワークを通じて世界のロータリークラブと提携し、辺境の開発国へも人道的支援なども行っています。

ロータリークラブの奨学制度の特徴は、受入れ国のロータリークラブのメンバーがカウンセラーとして留学中のいろいろな相談に乗ってくれ、自分たちの子供同様に勉学だけでなく、生活の面でも支援してくれ、留学生も親善大使としての働きを求められています。

姫路中央ロータリークラブの奨学制度で巣立った多くの留学生が今も世界で活躍しております。今日は東郷さんと姫路市児童合唱団の皆さんのすばらしい歌声を聞かれて、ゆっくりくつろいで頂ければと願います。

本日はご来場頂きまして本当にありがとうございました。

第一部 東郷亜由美



東郷亜由美

大阪教育大学小学校教員養成課程音楽専攻卒業、同大学大学院教育学研究科音楽教育専攻声楽専修修了。2009 年秋より、ロータリー財団国際親善奨学生・姫路中央ロータリークラブ冠名奨学生として、スイス・イタリア音楽院 (Conservatorio della Svizzera-Italiana) 修士課程へ留学。2011 年、同音楽院を満点・満場一致の首席で修了、同時に同音楽院ソリスト養成コースのオーディションに合格。2013 年、同コースを満場一致の首席で修了。

2010 年、ルガーノ市現代音楽フェスティバル “WASABI” のソリストに選出され、スイス在住作曲家 5 人による作品を世界初演。2011 年、イタリア、クレモナにてイタリア人作曲家、アントニオ・ザノン氏の作品 11 曲をピアニスト、ロベルト・アロージオとともに世界初演。2012 年 2 月、ローマ、ヴァチカン放送局にて、イタリア人作曲家、セルジョ・ジャンツィーニ氏の作品を初演録音、放送。2013 年 5 月、スイス・イタリア音楽院定期演奏会において、ベンジャミン・ブリテン作曲のオペラ「ルクレツィアの陵辱」のフェメール・コーラス (Female Chorus) 役を演ずる。2014 年、ルガーノ・ロング・レイク・フェスティバルにおいて、ガブリエレ・マランゴニの作品を世界初演、イタリア、スイスの各地でコンテンポラリー音楽を中心に精力的に活動。



第二部 姫路市児童合唱団 指揮：木村俊彦 ピアノ：河野よしの



姫路市児童合唱団

1963年10月、播州地方で初めての児童合唱団として発足。以来、今日まで歌を通して、児童青少年の健全育成を願い「歌の心」を培ってきた。3月2日には、創立50周年記念式典・演奏会を開催した。

毎週土曜日の練習、夏の合宿などで澄んだ響きを求め続け、鳥取・松本の姉妹都市をはじめ、北海道から鹿児島まで400余りの合唱団と交流。また、韓国、ソウルで開催されたアジア少年少女合唱祭、オーストラリア・アデレード～ゴールドコースト等の30周年記念演奏旅行、ドイツ～オーストリア～フランス・シャンティエ姉妹城訪問、ドイツ～オーストリア～チェコの「ハノーバーEXPO」記念招待演奏旅行なども経験した。

団員は84名。二組に分かれて練習し、小1～小4年のジュニアでは、リズムカルなステップや動きを取り入れた楽しく愉快的な曲を、小5年～中高大生は豊かな表現のできる日本や外国の歌曲・民謡・宗教曲・現代作曲家による作品などに取り組んでいる。

司会を勤めて頂いた野村^{ことね}琴峰さん

(姫路市児童合唱団出身)



第三部 東郷亜由美



ピアニストとの息もぴったりでした。



ピアノ：サンドロ ドノーフリオ

終演前に客席と共に「ふるさと」を合唱



受付風景（兵庫県立大の学生、大学院生に手伝って頂きました）



懇親会 20:30~23:00 於: GOTTO (フェスタビル4F)

